

生活を豊かにする楽しい活動

地域を明るくする社会活動

高壮だより水戸



初夏の輝き(会津 喜多方 三ノ倉高原)

写真提供:堀原地区高連 会長 高畑 健児

高原の初夏は輝いておりました。私の住まいの水戸ではもう夏の盛りでしたが、ここではさわやかな空気の中、広大な高原の地域が一面の黄金色に彩られておりました。日差しは夏、しかし、ここでは爽やかな風が私たちを歓迎してくださいました。ヒマワリたちも全て私たちを迎えるように、にこやかに笑いかけているようでした。緑は人々の気持ちを穏やかに癒してくれるとのこと、ほんの一時でもよい、喧騒の世間を離れ森の自然に触れ、爽やかな環境に包まれてみることは、長い人生の中で大切な時間ではないでしょうか。近隣でも出来ますよ、森林浴をして、仲間との大事な交流と合わせて、森の緑を浴びて、「フィトンチッド」を精一杯感じてみませんか。

高齢者クラブへの あゆみ

はるか縄文時代、定住生活がすすみ「ムラ」が形成され家族単位での生活が固定されると、経験が豊かで情報量の多い高齢者は、先祖に近い崇高なものとして尊敬を受けるようになった。これまで、当時の平均寿命は15歳弱で、最高齢でも30歳程度といわれていたが、最近の研究では60歳代の高齢者も存在し、そうであれば働きに出ている両親に代わり孫世代へ情報・知識を伝える頼りになる存在であったと思われる。

平安時代には、長寿を祝うもてなしの「尚齒会」が当時の知識層である貴族によって行われたことが記録に見え、江戸時代になるとこの歴史に倣った敬老の宴が、文化人階級を中心に行われた。また、松山藩では、藩主主催で同様の催しが行われた。これらの宴に呼ばれた者は、自らも詩歌を披露し楽しんだ。

時代は下って、明治中ごろには各地の氏子組織や婦人会等を中心に高齢者の集いが持たれ、高齢者の組織である老人会も結成されるようになった。

戦後になり、中近世以来の「家」制度から、夫婦とその子が家族の単位になると、高齢者自らが行動し、幸せを自身で創り出そうとする機運が高まった。また、現在の「敬老の日」につながる「としよりの日」行事も盛んとなり、昭和38年施行の「老人福祉法」において、「老人クラブ（高齢者クラブ）」の規定が盛り込まれ、その振興に尽くすことが掲げられた。

茨城県においては、昭和32年頃から老人クラブの振興活動が活発化し、昭和37年に茨城県老人クラブ連合会が結成されると、水戸市においても紆余曲折を経て昭和38年12月20日、75クラブをもって水戸市老人クラブ連合会の設立を見た。また、昭和39年4月1日には旧常澄村で、昭和36年度には旧内原村でそれぞれ連合会組織が結成されている。

平成29年度水戸市高齢者クラブ連合会総会

開催日／平成29年5月29日 会場／県民文化センター

平成28年度事業報告

全国的な問題として、平成10年～11年をピークにクラブ数・会員数の減少に歯止めがかからない中において、昨年度は2つの新しいクラブが誕生しました。いずれも、過去に解散したクラブが再結成する形で設立でした。新クラブ設立までの経緯は、地区全体で取り組み、人材を探し、新しい仲間として迎え入れようとする努力があつてのことでした。

クラブの活動内容も、会員の高齢化に伴う見直しを図るほか、会員だけでなく地域に視線を向けた活動が増加してきました。従来から行ってきた地域の子どもたちの見守りや、ひとり暮らし高齢者への声かけ・見守り活動のみならず、平成28年度においては、サロンを立ち上げるクラブが多くなりました。

一方で、解散を余儀なくされるクラブもあるのが現状です。解散の理由については、必然的な問題として会員の高齢化がありますが、高齢化に応じた活動として見直しを図らず、従来の活動を続けることで会員がついていけず、そのような会員の声を吸い上げての活動をしなかったことから、解散に至るケースもありました。連合会としても様々な形で事務局・各委員会の機能強化を図り、どのような相談でもできる体制をとりたいと考えております。

リーダー育成の面で、女性委員会による代表者研修会では、初めての試みとして、地区代表女性委員による事例発表に取り組むなど、大きな成果もありました。

平成29年度基本方針

高齢者クラブの起源は、高齢者の知識に敬意を表し長寿を祝う儀式としてはじまり、その歴史は古くは平安時代まで遡ります。そして、相互扶助組織である「講」の要素を取り入れ、各地での集いや地域の敬老事業として、今日まで連綿と続いてきました。

苦しかった戦争の時代が終わり、家や家族制度の民主的な見直しが行われると、家族の在り方が変化してきたことから、「老後の幸せを老人自身で創り出す」と考えた先人達が各地で「老人クラブ」を創立し、それぞれの活動をはじめました。その動きは加速しつつ各地へ広がり、現在では全国的なネットワークを有する高齢者組織となっています。

老人クラブは昭和38年8月に施行された「老人福祉法」第13条第2項において、「地方公共団体は、老人の福祉を増進することを目的とする事業の振興を図るとともに、老人クラブその他当該事業を行う者に対して、適当な援助をするよう努めなければならない」と位置づけられています。

水戸市高齢者クラブ連合会は、自らの生きがいのみを求めるだけでなく、時代の流れとともに、自らの経験を活かし地域を豊かにする活動を、多岐にわたりに展開して来しました。

今日、私達は、先駆者達の築いた歴史の重みを次代に渡すため、自身の幸せと地域をより良くするためには、何をすべきか、今、立ち止まって見つめ直す必要があるのではないのでしょうか。会員の加入はクラブ存続に必要ではありますが、数だけにとらわれることなく、「高齢者クラブに入ってよかった」と、まずは自身が感じられる組織づくりをしていきたいと思います。

高齢者クラブ連合会は、仲間とともに高齢期を楽しく生きがいをもつて過ごすことを目標に、自ら健康で自立するため健康活動に取り組み、「友愛」「奉仕」の心をもつて住みよい地域づくりを目指すことを今年度の指針とします。

新会長あいさつ

水戸市高齢者クラブ連合会 会長 佐々木国雄



前会長の残任一年間の会長に選任されました。器ではないかもしれませんが、私が大役を引き受けることといたしました。

過去に先輩諸氏が築きあげ、故山川会長が育み発展させた、この歴史ある水戸市高齢者クラブ連合会を引き受けるのは荷が重いのですが、グズグズしていれば、黄泉の国から懐かしい山川会長が檄を飛ばしてきそうです。ここは気合を入れて全力を傾けて取り組むべく、あらためて丹田に力をこめました。

われ等が取り組むべきは、会員が喜んでくれる施策を出来るだけ充実し、会員相互が大いに語り合い楽しんで過ごせる場をつくることだと思います。

県都水戸の水戸市高齢者クラブ連合会が発展できますよう、会員の皆様方と事務局の支援を仰いで、全力で駆けて行くつもりであります。どうぞよろしくお願いを申し上げます。29年度、共に手を取り合つて大いに頑張ります。

新副会長あいさつ

水戸市高齢者クラブ連合会 副会長 平戸 亨



この度、副会長の大役に御推挙を受けました平戸でございます。思い起こせばこれまで、山川会長さんをはじめたくさんの会長さんに仕えてまいりましたが、齢90近くにしてこの役をおおせつかり、多くの会員の皆様のご期待に応えるべく、身の震える心地であります。

私のモットーとして、体と健康が第一であり、健康な身体には健全な精神が宿ると信じております。そのため、スポーツ活動の推進に微力ながら力を尽くしてまいりました。また、後継者とリーダーの育成というところが、喫緊の課題と捉えており、これについても、微力ながら心を砕いていきたいと思っております。

最後に、浅学非才な私ではありますが、皆様の叱咤激励をいただき、お引き立てくださいますようお願いいたします。ごあいさつとさせていただきます。

水戸市高齢者クラブ連合会 副会長 江幡 弘



初夏の候、会員の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。さて、このたびの定期総会において、副会長に選出されました江幡弘でございます。

私たちは水戸市高齢者クラブ連合会の活動を応援しています

平成 29 年度事業計画

期 日	事 業 内 容	場 所
平成29年 4月～5月	全国加入促進強化月間	各地区
4月 6日(木) ～15日(土)	春の全国交通安全運動	各地区
5月29日(月)	水戸市高齢者クラブ連合会総会	県民文化センター
6月30日(金)	第44回水戸市高齢者クラブ 芸能発表大会	県民文化センター
7月21日(金) ～31日(月)	夏の交通事故防止県民運動	各地区
8月3日(木) ～8日(火)	第54回水戸市高齢者作品展	総合福祉会館
9月1日(金) ～20日(水)	高齢者の交通事故防止強調運動	各地区
9月20日(水)	全国一斉社会奉仕の日	各地区
9月21日(木) ～30日(土)	秋の全国交通安全運動	各地区
10月 3日(火)	第28回市高連スポーツ大会	水戸市総合運動公園
10月24日(火)	高齢者交通安全推進委員研修会	総合福祉会館
11月24日(金)	第41回水戸市高齢者クラブ大会	県民文化センター
12月1日(金) ～15日(金)	年末の交通事故防止県民運動	各地区
12月下旬	歳末清掃日	各地区
調整中	新任会長研修会	調整中
調整中	第44回市高連主催研修旅行	調整中
調整中	リーダー研修会	調整中
調整中	第24回女性代表者研修会	調整中
調整中	健康づくり・介護予防研修会	調整中
随 時	研修・旅行委員会	三の丸臨時庁舎
随 時	スポーツ委員会	三の丸臨時庁舎
随 時	広報委員会	三の丸臨時庁舎
随 時	地域づくり推進委員会(100万人会員増強運動推進における委員会)	
7月、平成30年1月	広報紙「高壮だより水戸」発行	

平成 29 年度予算(案)

収入の部(単位:円)

科目	予算額	摘要
会費	1,860,000	@15,000×124クラブ (市10,000+県5,000)
補助金	1,467,000	水戸市補助金 1,182,000 水戸市社会福祉協議会 補助金 285,000
雑収入	250,010	利息 10 スポーツ大会参加料 250,000
繰越金	125,002	前年度繰越金
合計	3,702,012	

支出の部(単位:円)

科目	予算額	摘要
事務費	110,000	消耗品費 10,000 通信運搬費 5,000 図書購入費 5,000 旅費 10,000 手数料 80,000
会議費	380,000	総会経費 260,000 役員会経費 50,000 委員会経費 70,000
活動費	1,900,000	芸能発表大会 280,000 高齢者作品展 150,000 スポーツ大会 650,000 ブロック活動費 140,000 高齢者クラブ大会 600,000 広報活動・広報紙発行 80,000
研修費	218,000	女性委員会研修会 85,000 健康づくり・介護予防研修会 33,000 県老連主催研修会 30,000 幹部指導研修会 70,000
負担金 補助及び 交付金	1,070,000	県老連負担金 680,000 会議出席者負担金 30,000 地区連交付金 360,000
慶弔費	20,000	弔慰金 20,000
予備費	4,012	
合計	3,702,012	

重点活動

- ① 単位クラブの民主的な運営を目指した、クラブ活動の見直し
- ② 地域活動をおとした、次期リーダーの登用と育成
- ③ 友愛・奉仕の精神による「地域支え合い活動(見守り声かけ活動)」の推進
- ④ 知識・経験を活かした、福祉活動と社会貢献による地域づくりの推進
- ⑤ 未加入者及び地域に対する高齢者クラブ活動のPR
- ⑥ 地域と連携した、新規クラブ発足の推進
- ⑦ 健康長寿を目指した「健康づくり・介護予防活動」の推進
- ⑧ 充実した高齢期を過ごすための文化活動の推進



来 賓



伝統輝く水戸市高齢者クラブ連合会発展のため、非力ではございますが、会員の皆様のご支援とご協力をいただき、職責を果たす所存であります。高齢者クラブ連合会が、仲間とともに高齢期を楽しみ、生きがいをもつて過ごすことを目標とした29年度の事業計画を、達成出来るように鋭意取り組む所存です。
なにとぞ前任者同様、お引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

私たちは水戸市高齢者クラブ連合会の活動を応援しています
